# 平成 28 年度

# 県 政 世 論 調 査

香川県



# 目 次

第	11	章	調査の概要	1
	1.	調査	昏目的	1
			-	
			► 设計	
	4.	回収	---- 又状況	1
	5.	サン	プル設計	1
	6.	報告	5書の見方	2
第	2	章	調査回答者の属性	3
	1	性別	IJ	3
			A	
			É	
			艾	
			· 主年数	
第	3	章	調査の集計結果	7
	1.	ボラン	ンティア・NPO活動について	7
	2.	男女	x 共同参画ついて	30
	3.	消費	き生活について	101
	4.	食品	a ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	119
	5.	高齢	<sup>令</sup> 者の保健福祉について	137
	6.	県政	女の重要度と満足度について	157
第	41	章	数表	213
第	5	章	調査票	279







## 第1章 調査の概要

#### 1. 調査目的

県政の諸問題について、県民の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料と することを目的とする。

#### 2. 調査項目

- (1) ボランティア・NPO活動について
- (2) 男女共同参画について
- (3)消費生活について
- (4)食品廃棄物について
- (5) 高齢者の保健福祉について
- (6) 県政の重要度と満足度について

#### 3. 調査設計

- (1)調査地域 香川県全域
- (2)調査対象 満20歳以上の県民
- (3)標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5)調査方法 郵送法
- (6)調査時期 平成28年6月10日~7月1日

#### 4. 回収状況

- (1)標本数 3,000
- (2) 有効回収数 1,639(54.6%)

### 5. サンプル設計

- (1) 母集団 香川県内の市町に居住する満20歳以上の県民
- (2)標本数 3,000
- (3) 地点数 150地点(市部:125地点、町部:25地点)
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

#### 【層化】

県内の市町(8市9町)を次のように5圏域に分類した。

圏域名	構成市町	
1 高松圏域	高松市·三木町·直島町·綾川町	
2 東讃圏域	さぬき市・東かがわ市	
3 小豆圏域	土庄町·小豆島町	
4 中讃圏域	丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町	
5 西讃圏域	観音寺市·三豊市	

さらに、各圏域内を市町の規模によって、

①高松市 ②高松市以外の市 ③町 に分類して、それぞれを層とした。

#### 【 標本数の配分 】

各層における母集団数(平成28年3月2日現在の選挙人名簿登録者数)の大きさにより、 3,000の標本数を比例配分した。

#### 【抽出】

- ①第1次抽出単位となる調査地点として、平成28年3月2日現在の投票区を使用した。
- ②調査地点数については、1調査地点あたりの標本数が20前後になるように、各層に割り当てられた標本数から算出して決定した。
- ③調査地点の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

層における選挙人名簿登録者数の合計 = 抽出間隔 層で算出された調査地点数

を算出し、等間隔抽出法により該当番目が含まれる投票区を抽出した。

- ④抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、総務省設定の市町村コードに従った。
- ⑤調査地点における対象者の抽出は、調査地点(投票区)内から選挙人名簿によって等間隔抽 出法で抽出した。
- ⑥以上の結果、圏域別・市町規模別における標本数・調査地点数は次のとおりである。

#### 【 **圏域別・市町規模別 標本数および調査地点数** 】 上段:母集団数 下段:標本数、()内は調査地点数

市町別圏域	高松市	高松市以外の市	町	計
1 高松圏域	345,803 1,270 (63)		46,603 172 (9)	392,406 1,442 (72)
2 東讃圏域		70,440 259 (13)		70,440 259 (13)
3 小豆圏域			26,032 95 (4)	26,032 95 (4)
4 中讃圏域		162,743 598 (30)	57,357 211 (12)	220,100 809 (42)
5 西讃圏域		107,504 395 (19)		107,504 395 (19)

#### 6. 報告書の見方

- (1)回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。このために、百分比の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示しています。このために、その比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。また、設問で回答がなかった選択肢について、図中の比率表記 (0.0%) を省略しています。
- (4) 本文、図表、集計表に用いた符号等の意味は次の通りです。

N:質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数

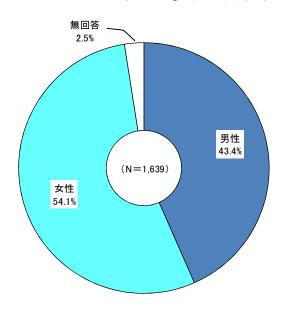




# 第2章 調査回答者の属性

#### 1. 性別

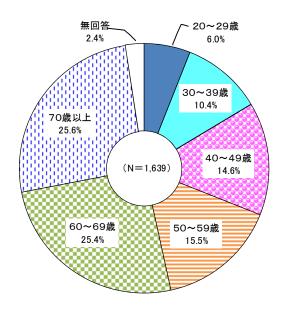
性別について、「男性」(43.4%)、「女性」(54.1%)となっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)	
男性	712	43. 4	
女性	886	54. 1	
(無回答)	41	2. 5	
計	1,639	100.0	

#### 2. 年齢

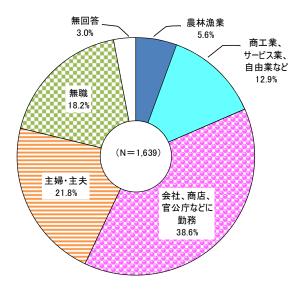
年齢について、「70歳以上」(25.6%) が最も多く、次いで「60~69歳」(25.4%)、「50~59歳」(15.5%)、「40~49歳」(14.6%) などとなっている。



項目	回答数	構成比
- 現日 -	(人)	(%)
20~29 歳	98	6. 0
30~39 歳	171	10. 4
40~49 歳	240	14. 6
50~59 歳	254	15. 5
60~69 歳	417	25. 4
70 歳以上	419	25. 6
(無回答)	40	2. 4
計	1, 639	100.0

#### 3. 職業

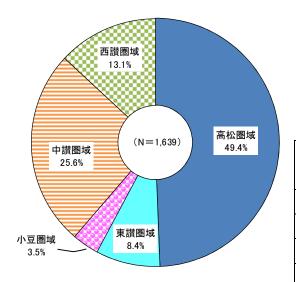
職業について、「会社、商店、官公庁などに勤めている」(38.6%) が最も多く、次いで「主婦・ 主夫」(21.8%)、「無職」(18.2%)、「商工業、サービス業、自由業などを営んでいる」(12.9%) などとなっている。



項目	回答数	構成比
	(人)	(%)
農林漁業	91	5. 6
商工業、サービス業、	211	12. 9
自由業など	211	12. 9
会社、商店、官公庁	632	38. 6
などに勤務	032	36. 0
主婦・主夫	357	21.8
無職	299	18. 2
(無回答)	49	3.0
計	1,639	100.0

#### 4. 圏域

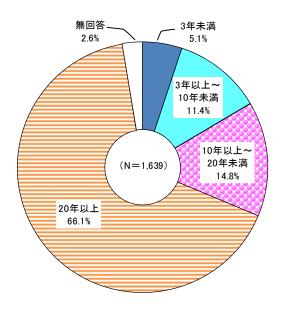
圏域について、「高松圏域」(49.4%) が最も多く、次いで「中讃圏域」(25.6%)、「西讃圏域」(13.1%)、「東讃圏域」(8.4%) などとなっている。



項目	回答数	構成比
	(人)	(%)
高松圏域	810	49. 4
東讚圏域	138	8.4
小豆圏域	57	3. 5
中讚圏域	419	25. 6
西讚圏域	215	13. 1
(無回答)	0	0.0
計	1, 639	100.0

## 5. 居住年数

居住年数について、「20 年以上」(66.1%) が最も多く、次いで「10 年以上~20 年未満」(14.8%)、「3 年以上~10 年未満」(11.4%)、「3 年未満」(5.1%) などとなっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
3年未満	84	5. 1
3年以上~10年未満	187	11. 4
10 年以上~20 年未満	243	14.8
20 年以上	1, 083	66. 1
(無回答)	42	2. 6
計	1,639	100.0